

財務省の使命

国の信用を守り、
希望ある社会を次世代に引き継ぐ。

納税者としての国民の視点に立ち、効率的かつ透明性の高い行政を行い、
国の財務を総合的に管理運営することにより、広く国の信用を守り、
健全で活力ある経済及び安心で豊かな社会を実現するとともに、
世界経済の安定的発展に貢献して、希望ある社会を次世代に引き継ぐこと。

財務省本省 一般職 採用特設ページ



このパンフレットに書いてあるのはほんの一部です。
詳しい採用情報はこちらから！

[採用に関するお問い合わせ]

財務省 大臣官房秘書課

〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1
TEL.03-3581-4111(内線2069)

財務省本省 一般職 採用HP



財務省本省 一般職 採用担当 公式X



財務省本省 一般職 採用担当 公式instagram



財務省

MINISTRY OF FINANCE



一般職入省案内
2026



主計局

社会保障や教育、安全保障など国の施策を実現するため、各省庁との議論を通じ、分野ごとの施策の優先順位を洗い直し、無駄を排除しつつ、限られた予算を経済効果の高い施策に重点的に配分しています。

予算編成 # 財政運営 # 決算 # 会計制度
予算執行調査

国際局

国際金融システムの安定や、日本を含めた世界経済の成長など、国境を越える地球規模の課題に対し、国際通貨政策や開発援助政策など様々な政策ツールを用いて、グローバルに活動しています。

経済安全保障 # 国際通貨・金融システム
政府開発援助(ODA) # 地球環境保全



大臣官房

財務省の内部管理と行政事務の総合調整を担い、人事、広報、セキュリティ・IT、会計、地方機関との連絡・調整、経済情勢の調査・分析などを通じて、各部局の円滑な業務遂行を支えています。

内部管理 # 行政事務の総合調整 # 人事
広報 # 縁の下の力持ち



主税局

「社会の会費」である税の仕組み(税制)の企画・立案を担い、公的サービスを提供するために必要かつ十分な財源を確保した上で、多くの人から納得感を得られる税制の構築に努めるとともに、経済社会の構造変化を捉えて不断の見直しを行っています。

税制改正 # 財政運営 # 税務行政 # 国際課税



理財局

国庫金の管理や通貨制度の企画・立案、安定的な国債発行による財政収入確保、財政投融资によるインフラ整備支援、地域・社会のニーズに応じた国有財産の活用などを通じ、国家財政の基盤と国民の暮らしを支えています。

国庫管理 # 通貨制度 # 国債発行 # 国有財産
財政投融资

関税局

密輸取締りや輸出入貨物の通関、関税や消費税等の徴収等を行う組織「税関」の司令塔を担うとともに、諸外国税関当局との連携・協力、通商分野における二国間・多国間の国際交渉にあっています。

密輸取締 # 通関 # 税関行政 # 国際交渉
経済安全保障 # 関税技術協力

WORK

「仕事」も本気。「私事」も本気。

財務省で国家を支える。

出産・育児関係

産前産後休暇や育児休業のほか、男性職員の配偶者出産休暇など、妊娠・出産に関する多様な支援制度が整備されています。また、育児時間、子の看護休暇、男性職員の育児参加休暇など、仕事と育児の両立を支援する制度も充実しています。



フレックスタイム制

フレックスタイム制とは、希望する職員の申告をもとに始業・終業時間を変えられる制度です。育児の事情に合わせる、業務量に応じて勤務時間にメリハリをつけるなど、柔軟な働き方を実現することができます。



休暇制度

一般的な有給休暇に加え、出産・育児関係の休暇のほか、夏季休暇、結婚休暇、介護休暇などの各種特別休暇が整備されています。これらにより、職員がプライベートも大事にしながら安心して働き続けられる環境が整っています。



LIFE

財務省で私生活を彩る。

テレワーク

持ち運びに適した小型・軽量の執務用端末を用いて、自宅に加え、都内各地や主要地方都市にあるサテライトオフィスでのテレワークも可能です。サテライトオフィスには、オンライン会議や機密性の高い業務の際に利用できる個室型ブースなど、快適に仕事ができる利便性の高い設備が揃っています。



オフィス改革

財務省が進めている「オフィス改革」とは、単に内装を変えることなく、「職員の働き方を変えること」です。既存の執務室に対する固定観念から離れ、時代にふさわしい仕事のやり方や働き方を追求し、効率化により高い成果を上げることのできる機能的な執務環境を目指します。ボックスシートや円卓など共有スペースも拡充し、柔軟な業務スタイルを実現します。



財務省でキャリアを重ねる先輩職員をみる!

右扉を開く

左扉を開く

仕事とプライベートを両立する先輩職員をみる!

係長の キャリアパス



主計局 総務課 歳入・国債係係長
染谷 隼
 SOMEYA Hayato
 [平成29年入省]

1年目 理財局総務課
 2年目 理財局国有財産業務課
 3年目 大臣官房地方課
 4・5年目 主計局国土交通第六係
 6年目 大臣官房秘書課
 7年目 主計局司計課
 8年目 主計局司計課司計第五係係長
 9年目 主計局総務課歳入・国債係係長

すべての経験が未来に活きる。

【 1・2年～ 理財局時代 】

1年目は総務課で理財局の所掌事務に関する連絡調整業務を担当しました。総務課では、局内各部署との連絡調整業務を介して様々な情報や業務に触れ、理財局の全体像を知ることができました。また、本省特有の国会関係業務に携わり、当時学んだ知識や経験が今でも役に立っています。社会人1年目に学んだことは今でも自分の中に色濃く残っており、特に、指導員としてサポートしてくださったひとつ上の先輩職員の教えによって自分の基礎が築かれたと思います。

現在の業務内容

私は現在、主計局総務課の歳入・国債係の係長をしており、上司とふたりの係員と一緒に働いています。歳入・国債係という係の名前とおり、国の予算の「歳入」と、国の借金である「国債」の償還及び利払い等のための予算の編成が主な担当業務です。防衛力強化や教育無償化等の政策を推進するために必要な財源の確保といったミッションに対応しています。

【 4・5年～ 主計局時代 】

国土交通係で、国土交通省所管の港湾関係予算の編成を2年間担当しました。係員でも、担当する予算は自ら責任をもって査定し、相手省庁の担当者や自分の上司に説明することが求められます。国土交通省の担当者とは議論を繰り返し、検討を重ねてお互いに納得のいく予算案を作り上げた時の達成感と充実感はとても大きいものでした。この経験があったからこそ、後に再び主計局勤務を希望し、今こうして主計局で係長を務めています。

財務省本省一般職を目指す就活生へメッセージ！

このように、私がこれまで担当した業務は相互に全く異なるものですが、若手のうちに幅広く多様な経験を積めることも財務省本省一般職のキャリアの魅力だと感じています。複数の部局で様々な仕事や人に触れた上で、「その道のスペシャリストになりたい」と思える分野を探ることが可能です。また、全く異なる仕事でも、それまでの経験が活かせることがあり、何よりも、様々な部局に知り合いがいることが私の強みになっています。

【 6年～ 大臣官房秘書課時代 】

財務省本省一般職は、5、6年目頃に一旦本省を離れ、財務局・税関での勤務を経験することもできますが、私は本省でより多くの業務経験を積みたいと考えていました。大臣官房秘書課では、職員の人事と採用に関する業務を担当し、どうしても財務省の魅力を受験生に伝えられるか、受験生とのコミュニケーションを深めるにはどうしたら良いかなど、仲間と意見交換してアイデアを出し合い、全力で採用活動を行いました。努力が実って、頼もしい後輩たちを採用することができ、今では一緒に働いています。



係員の 1日



大臣官房 秘書課
 人事企画担当
井 咲乃
 I Sakino
 [令和2年入省]

絶え間ない「発見」が、成長の糧に。

9:30

出勤時

現在の業務内容

私の所属する大臣官房秘書課人事企画担当では、「財務省再生プロジェクト」という組織風土改革に関する取組を行っています。財務省が国民の皆様から信頼され、国の信用を守っていくためには、職員が最大限に能力を発揮できる、風通しの良い職場づくりが必要です。本プロジェクトでは、財務省が時代にふさわしい仕事のやり方や働き方ができる組織となるよう、時代の変化に対応した様々な取組を推進しています。

財務省の標準的な勤務開始時間は9時30分で、他の役所や民間企業等と比べて少し遅いため、私は、電車の混雑がピークとなる時間帯を避けて通勤することができています。家庭や業務の状況に応じて、フレックスタイム制やサテライトオフィスを活用して勤務している職員もいます。登庁後は、まずメールをチェックし、その日のタスクとその優先度を整理した上で、業務に取り掛かります。

10:00

午前

人事企画担当では、週に一度、ミーティングを行い、各メンバーが目下取り掛かっている業務の進捗状況や一週間の業務予定を共有し合います。各メンバーが担当業務をそれぞれ並行して進めているため、お互いの業務状況を把握することは、チーム全体として円滑に業務を進める上で非常に重要です。ミーティングでは、検討中の案件についての相談や議論もしやすく、役割に関係なく意見を交わすことができるため、自分の考えをしっかりと持て臨むように心がけています。

12:00

昼食

財務省内には、3か所の食堂とコンビニがあります。一番大きな食堂は、この春にスタイリッシュな雰囲気リニューアルしたばかりで大変人気があり、職員も多くが食事やリフレッシュに利用しています。また、財務省の周辺には様々なジャンルの飲食店があり、自分のお気に入りのお店を見つけるために外に出て開拓するのも、お昼休みの楽しみの一つです。

13:00

午後

午後は、職員向けに企画・実施している英語研修に関する資料を作成しました。英語を使用する機会は増えており、実践的な英語能力の向上に繋がる研修を提供できるよう、研修内容を不断に見直しています。また、この日は月に一度の1on1ミーティングがあり、上司に自分のキャリアパスについて相談をしました。自身の不安や悩み等を自由に話すことができ、上司の導きで考えが整理され自己理解も進み、解決に結び付く気づきを得る手助けになっています。

18:15

退庁前

今日中に対応すべき案件が全て終わっているかを再度チェックし、明日の予定を確認します。急ぎではない案件についてのメールは、相手に配慮して勤務終了時間直前に送らないように心がけ、翌日登庁後すぐに送信できるように準備をして、この日は定時に退庁しました。



柔軟な働き方



大臣官房 秘書課
研修係
越後 柚香
ECHIGO Yuzuka
[令和5年入省]

テレワークの活用により、働く場所を柔軟に選ぶことができます。

ワークライフバランスを実現するための柔軟な働き方の一つに「テレワーク」があります。文書の電子化や Web 会議ツールの導入などにより、職場以外で勤務する場合でも職場と同等のパフォーマンスを発揮できる環境が整備されています。また、勤務時間・休暇に関する他の制度と組み合わせた、より柔軟な働き方も可能です。私自身も、例えば午前中はテレワーク、午後は年次休暇を取得することで、通勤に要する時間をリフレッシュや自己研鑽に充てるなど有効に活用しています。ライフステージの変化に応じた柔軟な働き方を実現できるため、安心して働き続けることができます。

子どもの成長を日々感じられる幸せ。

育児をしながらの働き方について

業務の都合で急に帰りが遅くなる日もありますが、直属の上司をはじめ、同僚の理解・協力のおかげで、基本的にほぼ毎日、定時に退庁しています。帰宅後は私が息子をお風呂に入れ、寝るまでの支度を妻と協力して行っています。
4月からは息子が保育園に通っています。共働きの妻は仕事柄、国内外の出張が多いので、妻が不在の日には私が保育園の送迎を行えるようにフレックスタイム制度を活用しようと考えており、多様な働き方ができる環境を有難く感じています。

配偶者出産休暇を取得してみた

息子が産まれたときは業務繁忙期だったため、当初は休暇を取得しないつもりでしたが、直属の上司や同僚から強く勧められて「配偶者出産休暇」を取得しました。繁忙期にも関わらず、同僚が私の業務を快く引き受けてくれたおかげで、出産当日に妻の傍に寄り添うことができました。出産に立ち会えたことで、新しい命の誕生を目の当たりにして改めて命の尊さに感動し、妻への感謝の念を強くするとともに、息子にとって代わりのいない父親としての自覚を確かなものにできました。



育児との両立



大臣官房文書課
広報室広報企画
第二係長
金原 和歩
KINPARA Kazuho
[平成29年入省]

プライベートは人それぞれ。自身の「やりたい」も追求できる。

入省当時から👉ここがChange!

学生時代の“憧れ”

畠山 敦

学生時代からドライブが好きで、「将来はこんな車に乗りたい」と漠然と考えることも多かったものの、東京での移動手段は電車や自転車を中心で、「車のある生活」は正直、イメージを持っていませんでした。ところが入省してみると、マイカーを所有する職員も多く、車好きの先輩に相談に乗っていただき、つい先日、憧れのマイカーを思い切って購入しました。高額な買い物に震えあがっておりますが、ゴルフやスノーボード、サウナ巡りなど休日の過ごし方の選択肢が広がり、生活の質がぐっと向上しました!

入省当時から👉ここがChange!

職場の人との関わり

安藤 樹一

先日、週末に先輩・同僚・後輩と家族ぐるみでBBQをしました。職場とは違う表情を見せる同僚や後輩と談笑したり、先輩のお子さんと河川敷と一緒に走り回ったりするうちに、仕事の疲れが癒やされました。学生時代には、職場の方とこのような付き合いができるとは想像もしていませんでしたが、仕事上の関係にとどまらずプライベートでも懇意にしている方が多く、交友関係が広がっています。ちなみに隣の畠山さんとは頻りにゴルフに行く仲です。

私生活での変化



入省1年目の私!



大臣官房
秘書課 人事第二係
畠山 敦
HATAKEYAMA Atsushi
[令和3年入省]

入省1年目の私!



主計局
経済産業第一係
安藤 樹一
ANDO Juichi
[令和4年入省]

柔軟な働き方



大臣官房 秘書課 研修係
越後 柚香
ECHIGO Yuzuka
[令和5年入省]

テレワークの活用により、働く場所を柔軟に選ぶことができます。

ワークライフバランスを実現するための柔軟な働き方の一つに「テレワーク」があります。文書の電子化や Web 会議ツールの導入などにより、職場以外で勤務する場合でも職場と同等のパフォーマンスを発揮できる環境が整備されています。また、勤務時間・休暇に関する他の制度と組み合わせ、より柔軟な働き方も可能です。私自身も、例えば午前中はテレワーク、午後は年次休暇を取得することで、通勤に要する時間をリフレッシュや自己研鑽に充てるなど有効に活用しています。ライフステージの変化に応じた柔軟な働き方を実現できるため、安心して働き続けることができます。

私生活での変化



入省1年目の私!

大臣官房 秘書課 人事第二係
富山 敦
HATAKEYAMA Atsushi
[令和3年入省]

入省1年目の私!

主計局 経済産業第一係
安藤 樹一
ANDO Juichi
[令和4年入省]

LIFE

財務省で私生活を彩る。

子どもの成長を日々感じられる幸せ。

育児をしながらの働き方について

業務の都合で急に帰りが遅くなる日もありますが、直属の上司をはじめ、同僚の理解・協力のおかげで、基本的にほぼ毎日、定時に退行しています。帰宅後は私が息子をお風呂に入れ、寝るまでの支度を妻と協力して行っています。

4月からは息子が保育園に通っています。共働きの妻は仕事柄、国内外的出張が多いので、妻が不在の日には私が保育園の送迎を行えるようにフレックスタイム制度を活用しようと考えており、多様な働き方ができる環境を有難く感じています。

配偶者出産休暇を取得してみた

息子が産まれたときは業務繁忙期だったため、当初は休暇を取得しないつもりでしたが、直属の上司や同僚から強く勧められて「配偶者出産休暇」を取得しました。繁忙期にも関わらず、同僚が私の業務を快く引き受けてくれたおかげで、出産当日に妻の傍に寄り添うことができました。出産に立ち会えたことで、新しい命の誕生を目の当たりにして改めて命の尊さに感動し、妻への感謝の念を強くするとともに、息子にとって代わりのない父親としての自覚を確かなものにてきました。



育児との両立



大臣官房文書課 広報室広報企画第二係長
金原 和歩
KINPARA Kazuho
[平成29年入省]

WORK

財務省で国家を支える。

係長のキャリアパス



主計局 総務課 歳入・国債係係長
染谷 隼
SOMEYA Hayato
[平成29年入省]

1年目 理財局総務課
2年目 理財局国有財産業務課
3年目 大臣官房地方課
4・5年目 主計局国土交通第六係
6年目 大臣官房秘書課
7年目 主計局司計課
8年目 主計局司計課司計第五係長
9年目 主計局総務課歳入・国債係長

すべての経験が未来に活きる。

- 【 1・2年～ 理財局時代 】
- 【 4・5年～ 主計局時代 】
- 【 6年～ 大臣官房秘書課時代 】

1年目は総務課で理財局の所掌事務に関する連絡調整や国会関係事務を、2年目は国有財産業務を担当しました。係員でも、担当する予算は自ら責任をもって査定し、相手省庁の担当者や自分の上司に説明することが求められます。国土交通省の担当者とは議論を繰り返すことが求められます。国土交通省の担当者とは議論を繰り返すことが求められます。国土交通省の担当者とは議論を繰り返すことが求められます。

現在の業務内容

私は現在、主計局総務課の歳入・国債係の係長をしており、上司とふたりの係員と一緒に働いています。歳入・国債係という係の名前とおり、国の予算の「歳入」と、国の借金である「国の債」の償還及び利払い等のための予算強化や教育無償化等の政策を推進するために必要な財源の確保といったミッションに対応しています。

財務省本省一般職を目指す就活生へメッセージ!

このように、私がこれまで担当した業務は相互に全く異なるものですが、若手のうちに幅広く多様な経験を積めることも財務省本省一般職のキャリアの魅力だと感じています。複数の部署で様々な仕事や人に触れた上で、「その道のスペシャリストになりたい」と思える分野を探ることが可能です。また、全く異なる仕事でも、それまでの経験が活かせることがあり、何よりも、様々な部署に知り合いがいることが私の強みになっています。



係員の1日



大臣官房 秘書課 人事企画担当
井 咲乃
I Sakino
[令和2年入省]

絶え間ない「発見」が、成長の糧に。

現在の業務内容

私の所属する大臣官房秘書課人事企画担当では、「財務省再生プロジェクト」という組織風土改革に関する取組を行っています。財務省が国民の皆様から信頼され、国の信用を守っていくためには、職員が最大限に能力を発揮できる、風通しの良い職場づくりが必要です。本プロジェクトでは、財務省が時代にふさわしい仕事のやり方や働き方ができる組織となるよう、時代の変化に応じた様々な取組を推進しています。

- 9:30 出勤時
- 10:00 午前
- 12:00 昼食
- 13:00 午後
- 18:15 退庁前

財務省の標準的な勤務開始時間は9時30分で、他の役所や民間企業等に比べて少し遅いため、私は、電車の混雑がピークとなる時間帯を避けて通勤することができています。家庭や業務の状況に応じて、フレックスタイム制やサテライトオフィスを活用して勤務している職員もいます。登庁後は、まずメールをチェックし、その日のタスクとその優先度を整理した上で、業務に取り掛かります。

人事企画担当では、週に一度、ミーティングを行い、各メンバーが目下取り組んでいる業務の進捗状況や一週間の業務予定を共有し合います。各メンバーが担当業務をそれぞれ並行して進めているため、お互いの業務状況を把握することは、チーム全体として円滑に業務を進める上で非常に重要です。ミーティングでは、検討中の案件についての相談や議論もやすく、役職に関係なく意見を交わすことができるため、自分の考えをしっかりと発信できるよう心がけています。

財務省内には、3か所の食堂とコンビニがあります。一番大きな食堂は、この春にスタイリッシュな雰囲気リニューアルしたばかりで大変人気があり、職員の多くが食事やリフレッシュに利用しています。また、財務省の周辺には様々なジャンルの飲食店があり、自分のお気に入りのお店を見つけるために外に出て開拓するのも、お昼休みの楽しみの一つです。

午後は、職員向けに企画・実施している英語研修に関する資料を作成しました。英語を使用する機会は増えており、実践的な英語能力の向上に繋がる研修を提供できるよう、研修内容を不断に見直しています。また、この日は月に一度の1on1ミーティングがあり、上司に自分のキャリアパスについて相談をしました。自身の不安や悩み等を自由に話すことができ、上司の導きで考えが整理され自己理解も進み、解決に結びつく気づきを得る手助けになっていました。

今日中に対応すべき案件が全て終わっているかを再度チェックし、明日の予定を確認します。急ぎではない案件についてのメールは、相手に配慮して勤務終了時間直前に送らないよう心がけ、翌日登庁後すぐに送信できるように準備をして、この日は定時に退庁しました。